

伊予 Imari 里

広報 **8** NO. 570
2001
(平成13年)

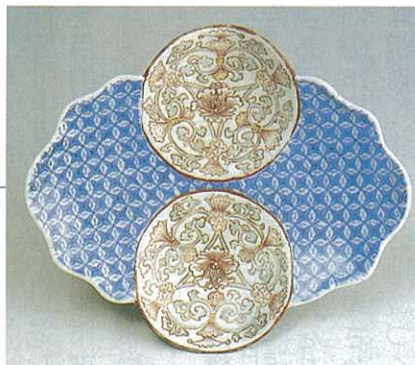


今年の夏は君のもの!

(第9回 イマリンフェスタビーチバレーボール大会 ビーチフラッグレース 7月15日)

色絵唐花七宝文変形皿

銅島(日峯社下窯) 1650年代後半~1660年代前半
高さ 3.4 口径14.0~16.9 底径 7.7~9.6cm



今 月 の 主 な 内 容	特集	同和問題について あなたは どう思う? …2
		パブリックインフォメーション ……8
		教育と文化 ……13
		みんなの広場 ……14
		ほがらかページ ……16
		ほくの学校わたしの学校…17
		スポーツ ……18
		くらしのチャンネル ……20
		お便り ……24



同和問題について あなたは どう思う？



※写真と記事の内容との関連はありません

8月は同和問題

啓発強調月間です

21世紀は「人権の世紀」であると言われています。

人権とは、人が生まれながらに持っている基本的な自由と権利のことで、すべての人が幸福な人生を送るために欠くことのできないものです。

伊万里市は、平成7年9月に、人権尊重を基調とする差別のない明るいまちの実現を目的とした『伊万里市部落差別撤廃・人権擁護に関する条例』を施行しました。

さらに、平成12年8月には『人権教育のための国連10年に基づく推進計画』を策定し、あらゆる差別や偏見をなくし、すべての市民の人権が尊重される真に豊かな明るく住みよい地域づくりの実現をめざし努力しています。

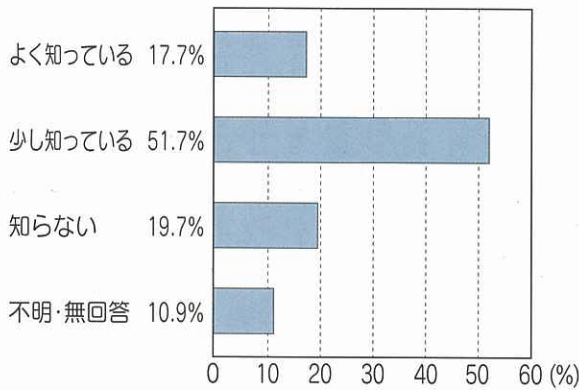
その一つとして平成12年11月、「人権問題に関する伊万里市民意識調査」を行いました。これは昭和54年、同61年、平成6年に続き4回目となる調査です。

今回は、その中でも同和問題に関する調査結果をとり上げてみました。そこから見えてくる同和問題に関する現状と課題を、みなさんもいっしょに考えてみましょう。

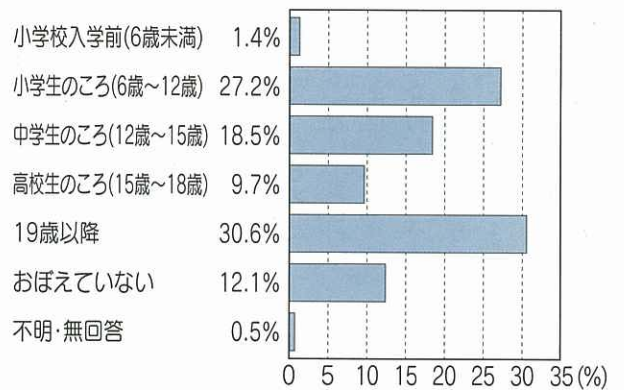


同和問題への皆さんの意識は？

問1 同和問題を知っていますか



問2 同和問題を初めて知ったのはいつですか



問3 同和問題を初めて知ったきっかけは何ですか

	0	50	100(%)
全世代 (1531人)	学校の授業で習った 26.1	家族 16.5	マスコミ 13.8
			講演会 13.2
			研修会 30.4
20代 (161人)	学校の授業で習った 62.1	家族 10.6	その他 27.3
30代 (232人)	学校の授業で習った 60.0	マスコミ 11.6	その他 28.4
40代 (325人)	学校の授業で習った 22.2	家族 16.6	マスコミ 17.5
			講演会 11.4
			研修会 10.2
50代 (268人)	学校の授業 11.2	家族 17.2	マスコミ 17.5
			講演会 18.2
			研修会 8.6
60代 (427人)	学校 7.3	家族 23.3	マスコミ 11.9
			講演会 20.1
			研修会 8.0
			近所の人 11.9
			何となく 9.0
			その他 18.3

数字は%

若年層は学校の授業で習ったがトップに

同和問題を知っている人は「よく知っている」「少し知っている」を合わせると約70%で、特に60歳代以上の年齢層の割合が多くなっています。

同和問題を知った時期は、「19歳以降に知った」が全世代では約30%ですが、20代から30代では「18歳までに知った」が多くを占めました。

同和問題を知ったきっかけは、多い順に「学校の授業」「家庭」「マスコミ」「講演会」などとなっています。

全世代では家庭や地域で同和問題を知った人が多くなっていますが、20代から30代までの若い年齢層では「学校の授業で習った」が60%以上となっています。

人権・同和教育への積極的参加が重要

問2、問3の調査結果から、学校教育においての同和教育の推進効果が伺えます。前回の調査と比較して見ると、「マスコミ、学習会、啓発紙などで知った」が最も多かつ

たのですが、今回の調査では、「学校の授業で習った」が最も多くなっています。このことは、佐賀県民意識調査でもほぼ同じ傾向となっています。

しかし、問1で、同和問題について「知らない」と答えた人が全世代で19・7%もあり、なお一層の社会教育での啓発を行っていく必要があります。各町、各地区巡回講座を行っていますが、参加者が比較的高齢者に片寄っているようです。若い年齢層の人たちは仕事の都合で参加しにくいとの声もあります。そこで、職場内での啓発活動呼びかけているところがあります。また、30代、40代の比較的若い家庭向けに、中学校育友会（PTA）が主催し同和・人権問題研修会が開催されています。ぜひ参加して欲しいと思います。

この調査から見て、児童・生徒は学校教育で正しく同和教育や人権教育を受けているものと思われれます。学校教育や家庭教育、社会教育との相乗効果により、さらに同和問題・人権問題への市民意識が高まるよう啓発活動を続ける必要があります。



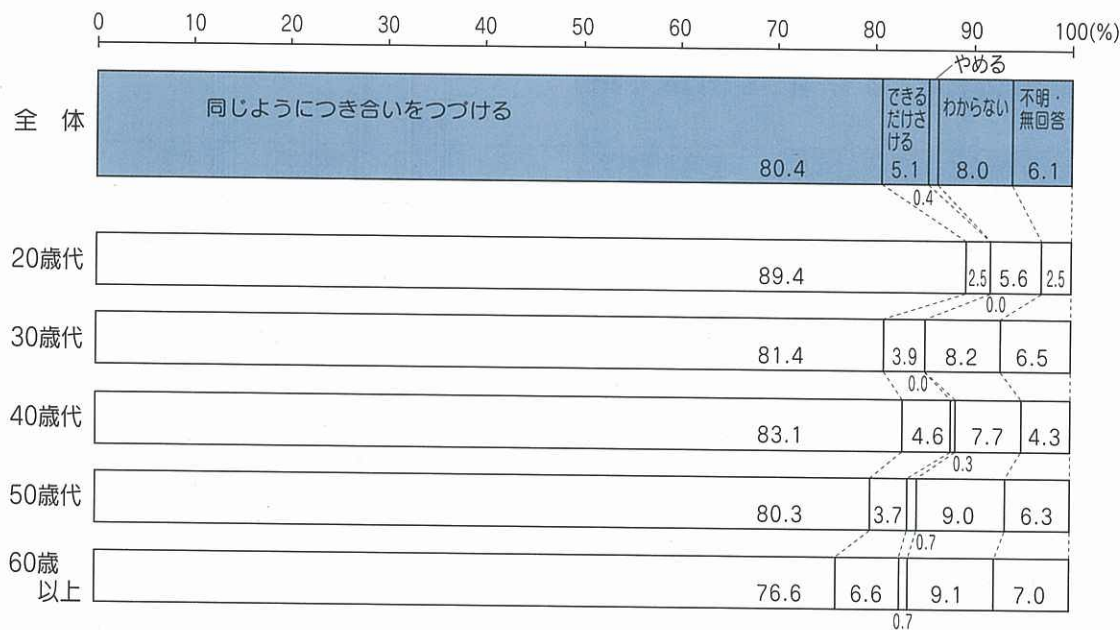
身近に同和地区の人がいたら あなたはどうしますか？

「これまでと同じようにつき合いを続ける」と答えた人が、全体で80・4割と、多くの人々が「同和地区の人であっても、つき合いにはこだわらない」と考えていることがわかります。この結果は、一見喜ばしいことと思えますが、平成11年実施の県民意識調査では、同じ調査内容の回答は87・5割と、市の調査より高くなっています。県全体と比べると伊万里市民の意識は低いと言わざるを得ません。

「つき合いをやめてしまおう」と答えた人は、未だに偏見や、拒否的態度の持ち主と推測されますが、この回答が少ないことは望ましいことです。

しかし、「わからない」と「無回答」とを合わせると15割近くになることは、注目すべき点です。まだしっかりした自分の考えを持たず、不安定であいまいな態度を暗示している「できるだけ避ける」と答えた人と合わせると19・2割になります。全体の約5

問4 職場・近所の人と同和地区の人だったら



分の1が同和問題に対し、拒否的、逃避的で不安定であるとしてとれます。

生まれにこだわる こだわらない

「同じようにつき合いを続ける」と回答した割合を見ると、全体として若年層の回答率が高く、年齢が増すに連れて低くなっている傾向があります。高齢者にはまだ「生まれ」にこだわる考え方が根強く残っていることが推察されます。20代、30代では「つき合いをやめてしまおう」と答えた人は、ともに0割です。若者には、「生まれ」にこだわることもなく、同和問題に対して拒否的、逃避的態度が少ないことを示唆するものでしょう。

差別心をなくすことが 問題解消への道

同和地区の人たちはそこに生まれただけで、また、そこで生活しているからというだけで差別されてきました。「部落差別は過去のことだろう」「部落差別は今ももう無くなった」という人がいます。しかし、そういう見方は認

識不足と言わざるを得ません。残念なことに差別発言、差別落書き、投書など多くの部落差別事件が発生している、最近ではインターネットを使った悪質な事例も報告されています。

部落差別は、同和地区の人たちに責任があるのではなく、周囲の人たちに解決の責務がある課題です。周囲の人たちの差別心が無くならない限り、部落差別は解消しませんが、そのためには、私たち一人ひとりが、同和問題・人権問題に関心を持ち、正しい認識を持って「私は決して差別をしない」と常に心がけ、実行することが大事です。

「差別はいけないことだ」とは誰でも知っています。差別は、知識・理解のレベルの問題ではなく、私たちの心の深層にある、わがままな心やねたみの心などと深く関わっています。

差別解消のために、私たちがまず、自分の内面に潜む差別心を反省することが大事です。そして「私も差別をすることもかもしれない」と自ら慎み、差別という過ちで他人を傷つけることがないように心がけなければなりません。



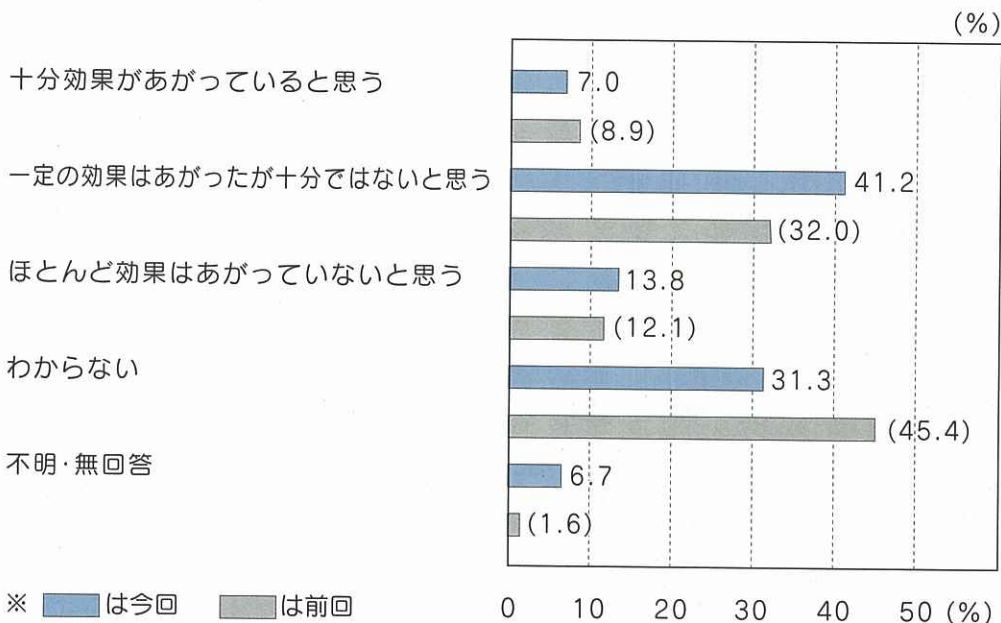
「一定の効果はあったが十分でないと思う」と答えた人が、41・2割と最も高く、「十分効果が上がっていると
思う」の7割と合わせると5割弱で、少しずつ効果が上がっていることがわかります。

しかし、「わからない」31・3割、「ほとんど効果は上がっていないと思う」13・8割とを合わせると45・1割にもなり、今後さらに啓発活動にくふうを重ね、努力を続けていくことが大切です。

前回の調査と比べてみると「一定の効果はあったが十分でないと思う」の回答が、前回の32割から今回41・2割と約10割高くなり、「わからない」の回答が前回45・4割から今回31・3割と14・1割減少しており、啓発活動の効果が数値にも表れています。

おおまかに見れば「十分ではないが効果は上がっている」と「効果は上がっていない、わからない」の二分化の傾向と言えます。このことは

問5 同和教育の効果について



※ ■は今回 ■は前回

同和教育の効果について どう思いますか？

県民意識調査でもほぼ同じ傾向を表わしています。

年齢・職業・地域別の 理解・意識の格差

属性で見ると「効果が上がっている」の回答は、年齢が上がるほど高くなっていますが、逆に若年層ではたいへん低くなっており、今後の取り組みの課題と言えます。

また、職業別に見てみると、官公庁(国・県・市の機関)や学校に勤めている人は「一定の効果はあったが十分でないと思う」への回答が、あきらかに高くなっています。官公庁や学校に勤めている人の同和問題に対する意識や理解は、他の設問についても全体的に高くなっています。このことは、研修の機会や学習の積み重ねの結果だと思えます。

居住区別に見てみると、東部地区(大川・松浦・南波多)が他の地区と比べて「十分効果が上がっていると思う」への回答が高いのが目につきます。これは平成8年、東陵中学校区の大川・松浦同和問題協議会が結成されて以来、地道な活動が続けられている成果だと考えられます。

一人ひとりの 意識改革が必要です

市は、同和教育係2人、同和教育指導員4人で企業、各種団体、PTA、各地区などを巡回し、啓発活動を行っているところですが、その中でいろいろな質問や意見が出てきます。主なものをいくつか紹介してみよう。

「同和問題はそつとしておけば自然になくなるのではないですか」

「同和問題研修をするから、かえって差別が生じるのではないですか」

「同和地区の人たちは、集まって暮らさず分散すれば目立たず、差別は自然になくなるのではないですか」

この他にもいろいろな声が聞かれます。しかし、これらの意見は「差別される側」に責任をすり替え、「差別している側」の意識が欠けています。同和問題の解決は、わたしたち一人ひとりの意識の改革にかかっています。と同時にわたしたち一人ひとりの心の問題なのです。そのためにも、機会をとらえて研修会に参加することが大切です。



あなたはハンセン病を 正しく理解していますか？

同和問題とともに、今問題となっているのはハンセン病患者・元患者の皆さんに関する人権問題です。私たち一人ひとりが自らの問題として理解を深め、基本的人権が尊重される、偏見や差別のない社会を作っていくことが大切です。あなたはハンセン病について正しく理解していますか？

隔離政策の違憲性が認められました

らい予防法（1996年廃止）に基づく隔離政策で基本的人権を侵害されたとして、ハンセン病の元患者たちが国に賠償を求めた「ハンセン病国家賠償訴訟」を知っていますか。

5月11日、熊本地方裁判所は、「1960年には違憲性は明らかだった」として、国に損害賠償金の支払いを命じました。

《判決の要旨》

▽遅くとも1960年以降に
おいては、ハンセン病は隔離政策を用いなければなら
ない特別な疾患ではなく
り、すべての入所者及び患
者について、隔離の必要
性は失われた。厚生省はこ
の時点で、隔離政策の根本
的な変換をする必要があ

が、らい予防法廃止までこれを怠っており厚相の職務行為に国家賠償法上の違法性と過失がある

▽らい予防法の隔離規定は遅くとも60年には違憲性が明白になっていた。65年以降に隔離規定を改廃しなかつた国会議員の立法上の不作為につき、国家賠償法上の違法性、過失がある

今後につながる初の判決です

この判決は熊本、鹿児島両県の国立療養所の入所者たちが熊本地裁に起こした15次、原告総数589人のうち、1次から4次の127人が対象で、ハンセン病国家賠償訴訟の初の判決でした。今回の判決は、ほかの係争中の訴訟や、患者・元患者の皆さんの処遇改善に大きな影響を与えたいと言われています。

病名は発見した 医学者の名前に

ハンセン病のかつての病名は「らい」でした。

しかし、長い間人々が「らい」に対して抱いてきた差別や偏見を解消し、正しい認識を持つて欲しいという願いから、らい菌の発見者であるノルウェーの医学者ハンセン博士の名をとってハンセン病と改められました。

どんな治療があるか 知っていますか？

1940年代のプロミンを始めとして、リファンピシン、DDSなどの優れた治療薬が開発されました。そして、それまで不治の病と思われていたハンセン病は、完治する病気となったのです。

ハンセン病は治る 病 気 で す

- ▼伝染力の極めて弱い病原菌による感染症です
- ▼遺伝病ではありません
- ▼ほとんど発病の危険性はありません

▼菌は治療により数日で伝染性を失い、軽快した患者と接触しても感染することはありません

▼不治の病気ではなく、完治する病気です

▼早期に治療すれば身体に障害が残ることはありません

患者・元患者の 皆さんの現状は？

日本では、平成12年末現在、13か所の国立ハンセン病療養所および2か所の私立療養所において4467人が入所療養していますが、ほとんどの入所者がハンセン病自体は治癒しています。

しかし、ハンセン病の特効薬ができる以前に病気が進行した人たちの中には、失明や顔、手足に残る障害などの後遺症が重いこと、後遺症が軽くても高齢であること、長期間にわたって社会との交流がない生活を余儀なくされたことなどのために、地域社会への復帰が困難な人がいます。さらに、日本の社会に残っている偏見や差別も、地域社会への復帰や地域の人々との交流を妨げる一因となっています。



《目的》

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下の平等を定める日本国憲法の理念及び同和对策審議会答申の精神に基づき、もつとも深刻にして重大な社会問題である部落差別をはじめ、あらゆる差別により今なお人間の尊厳が侵されていることを考慮し、速やかに部落差別等の撤廃と人権擁護を図り、もつて人権尊重を基調とする差別のない明るい伊万里市の実現に寄与することを目的とする。

《市の責務》

第2条 市は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で市民の人権意識の高揚に努めるものとする。

《市民の責務》

第3条 すべての市民は、相互に基本的人権を尊重するとともに、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくするための施策に協力し、自

らも部落差別をはじめ人権侵害に関する行為をしてはならない。

《施策の推進》

第4条 市は、基本的人権を擁護し、部落差別等を撤廃するために必要な生活環境の改善、社会福祉の充実、産業の振興、職業の安定、教育の充実及び人権擁護意識の高揚等に関する施策について、市民及び関係団体と協力のうえ推進に努めるものとする。

《教育及び啓発活動の充実》

第5条 市は、市民の人権意識の普及高揚を図るため、関係団体と協力関係を密にし、充実した人権教育の推進を図り、あらゆる機会をとらえて啓発活動を行い、人権擁護の社会づくりに努めるものとする。

《推進体制の充実》

第6条 市は、部落差別等の撤廃に関する施策を効果的に推進するため、国、県及び関係団体と連携を図り、推進体制の充実に努めるものとする。

伊万里市部落差別撤廃
人権擁護に関する条例 (抜粋)

同和問題啓発強調月間中の催し

市や県は、同和問題啓発強調月間にあたり、各種の催しを行います。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

伊万里市では

◆ふれあい映画上映会



▽日時 8月16日(木)・24日(金)

①午後1時

②午後3時

▽会場 市民図書館

▽上映作品 「いのち輝く灯」

※伊万里ケーブルテレビ、西

海テレビでも放映します。

詳しくは番組表でご確認ください。

◆いまり人権フェスティバル 2001―差別のない明るい21世紀をめざして―

▽日時 8月28日(火)

午後1時半～3時半

▽会場 市民センター

▽入場料 無料

▽内容

《同和問題講演会》

●演題

一人芝居『母さん笑って』

●講師 小林 泉さん



《ふれあい人権コンサート》

●テーマ

「ふるさとから伝えたいこと」

●演奏

人権バンド「葦屋舎」

《なるほどザ！人権パネル展》

佐賀県では

◆啓発映画の放送

▽日時 8月4日(土)

午前10時半

▽映画名 『素顔の心で』

(出演・鈴木ヒロミツほか)

▽放送局 STSサガテレビ

◆同和問題講演会

▽日時 8月8日(水)

午後1時半

▽会場 諸富町文化体育館

▽テーマ 『明日元気になあれ』部落(むら)に生まれ

てよかった

▽講師

松村智広さん(三重県大山

田村立大田中学校教諭)

▽入場料 無料

▽問合せ先

市生涯学習課

(☎2111内線461)

市人権・同和对策課

(☎2111内線244)

県人権・同和对策課

(☎09527063)

最小の経費で 最大の効果を得る

それが行政改革の出発点です

伊万里
あなたは1997年5月1日から数えて **81529** 番目にアクセスされました。
このページはリンクフリーです。リンクされたら E-mail でご連絡ください。

暮らしのページ
市民電子会議室
伊万里市民図書館

トピックス
・広報伊万里7月号を追加 (7/9UP)
・イベントコーナーに
アルプスの少女ハイジ公演追加 (6/22UP)

伊万里市役所
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
TEL.0955-23-2111 FAX.0955-23-6113
E-mail: imari@po.saganet.ne.jp

◆問合先 市企画政策課

(☎) 21111 内線403

伊万里市は『新伊万里市行政改革大綱』と、これに基づいて定めた『実施計画』により、平成8年度から平成12年度の5か年間に、行政改革を積極的に進めてきました。
今月は、これまでの行政改革の取り組みの成果についてお知らせします。

伊万里市のホームページ <http://www.saganet.ne.jp/imari/>

市民の皆さんが各種の行政サービスをより利用しやすくする。また、限られた財源や人材を効果的に活用し、より効率的な行政運営を行っていく。このような観点から次の四つの項目に分けて、行政改革に取り組んできました。

**市民にとって
具体的に
どういう利点があったの？**

- ① 市民サービスの向上と行政運営の改善
- ② 事務事業の見直し
- ③ 組織・機構の見直し
- ④ 定員管理の適正化と職員的能力開発

**これまで
どのような
取り組みを
してきたの？**

▼ 窓口のローカウンスターの設置、障害者用トイレ・親子トイレの整備、来庁者専用のコピー機の設置など、市民の皆さんが市役所をより利用しやすくなるように、

▼ まちづくり出前講座の開設、ケーブルテレビやインターネットによる情報の提供、情報公開制度の導入など、市民の皆さんへ行政情報を提供する機会や媒体を拡充しました。

▼ 庁舎環境を整備しました。市民図書館での住民票の写しや印鑑登録証明書の取り次ぎ交付の開始、施設利用申請書などの押印見直しなど、市民の皆さんが、行政サービスをより利用しやすくなるように事務の改善を行いました。

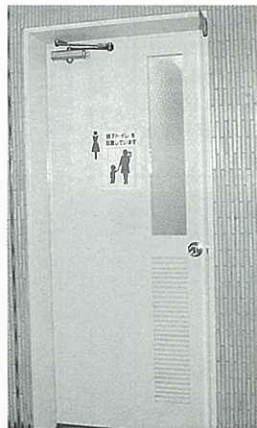
『こんにちは市役所です』の収録風景





皆さんが気軽に利用しやすいように市役所1階の窓口にもローカウンターを設置しました

市役所1階の市民課待合室横に、コピー機を設置しました。1枚につき10円の使用料が必要ですが、誰でも使用できます



市役所1階に、小さい子どもといっしょに、安心して利用できる『親子トイレ』を設置しました

◆表1 人件費縮減の状況 (対前年度比較)

年 度	人 数	縮 減 金 額
平成8年度	+ 3	+ 2,040万円
平成9年度	0	0
平成10年度	△ 11	△ 6,187万円
平成11年度	△ 10	△ 4,788万円
平成12年度	△ 7	△ 3,760万円

※平成8年度は、消防本部の週休2日制の導入に伴う定員の増などのため人数、金額とも増加しています

◆表2 時間外勤務手当の縮減の状況 (対前年度比較)

年 度	縮 減 金 額
平成8年度	△ 516万円
平成9年度	△ 3,060万円
平成10年度	△ 1,569万円
平成11年度	△ 459万円
平成12年度	△ 900万円

**市役所内では
どんなことに
取り組んだの？**

処理の効率化を図りました。複雑、多様化し、増大する行政需要に対応するために、課・係の統廃合など簡素で効率的な組織機構への見直しを行いました。

**これから
どう取り組んで
いくの？**

行政改革の成果は、新たな市民サービスの提供に役立っています。

- ▼介護保険の導入や、県からの権限移譲などによる事務の増加に対応しながら、公民館長の嘱託化など職員配置の適正化を図り、5か年間で25人、人件費にして約1億2000万円の削減を行いました。(表1)
- ▼『ノー残業デー』の導入、保育園の時差出勤の実施などにより時間外勤務の縮減を図り、5か年間で約6500万円の節減を行いました。(表2)
- ▼昼休み、退庁時の消灯徹底などにより、3か年間で約280万円の庁舎光熱費などを節減しました。
- ▼旅費基準の見直しを行い、平成12年度で約680万円の旅費の縮減を図りました
- ▼手数料・使用料の改定を行い、受益と負担の適正化を図りました。
- ▼助役専用車を一般公用車との併用とし、専任運転手を廃止しました。
- ▼事務のOA化を進め、事務

平成13年度からの行政改革についても、これまでの5か年間で取り組んできた実績を踏まえ、市民参加の懇話会の審議を経て大綱を策定し、積極的に取り組んでいくこととしていきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

今回お知らせしました、平成8年度から平成12年度の行政改革の取り組みの詳しい内容については、市役所1階の市民情報コーナーや、各町公民館に備えている『行政改革実績報告書』をご覧ください。

伊万里の明日を担う市職員募集



■試験区分・採用予定人数・受験資格

試験区分	予定人数	受 験 資 格	
一般事務A	6人程度	昭和47年4月2日～昭和55年4月1日までに生まれた人	学歴は問いません。
一般事務B	4人程度	昭和51年4月2日～昭和59年4月1日までに生まれた人	学校教育法で規定する大学もしくは、これに準じる学校の卒業生、または平成14年3月31日までに卒業見込みの人は受験できません。ただし、短期大学卒業生（卒業見込みを含む）は受験できます。その他の学歴は問いません。
保育士	2人	昭和47年4月2日～昭和57年4月1日までに生まれた人	保育士の資格取得者、または平成14年3月31日までに資格取得見込みの人。
建築技術	1人	昭和45年4月2日～昭和54年4月1日までに生まれた人	1級建築士または2級建築士の資格を有する人。学歴は問いません。
自動車運転	1人	昭和47年4月2日～昭和56年4月1日までに生まれた人	大型自動車第1種運転免許取得者、または平成14年3月31日までに資格取得見込みの人。
消防士	2人	昭和51年4月2日～昭和59年4月1日までに生まれた人 ただし、消防職員として2年以上実務経験がある場合は、昭和49年4月2日以降に生まれた人	普通自動車第1種運転免許取得者、または平成14年3月31日までに取得見込みの人で、次のいずれかに該当する人。 ①平成13年4月1日現在伊万里市、または福島町（長崎県）に住民登録をし、引き続き居住している人 ②①の人によって、仕送りを受け、市（町）外に一時的に居住している人……（学生等） ③伊万里市または福島町に居住していた人で、当時生計を一つにしていた人（現在伊万里市または福島町居住者）を残し、市（町）外に居住している人（会社員等）

◆受付期間
8月1日（水）～8月20日（月）（郵送の場合は、20日の消印のあるものまで受け付けます）

◆一次試験
9月16日（日）（会場）伊万里中学校

◆申込・問合先
☎848-8501
伊万里市立花町1355番地1
市総務課職員係（☎2111内線411）

◆申込書の請求
申込書は、8月1日（水）から、市役所3階総務課職員係で配布します。郵送での請求は、封筒に「採用試験申込書請求」と朱書きし、120円切手をはった、あて先明記の返信用封筒（A4サイズ）を同封のこと

◆一次試験の内容
①一般事務Aは、大学卒業程

度の教養試験と専門試験
②建築技術は、高等学校卒業程度の教養試験と専門試験
③一般事務B、保育士、自動車運転手は、高等学校卒業程度の教養試験
④消防士は、高等学校卒業程度の教養試験と体力試験

◆勤務条件
給料（現行）
新規卒業者は、左の表のとおりです

▽諸手当
扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など

▽賞与（現行）
年間4・75月（夏2・05月、冬2・15月、春0・55月）

▽勤務時間・休暇
勤務時間は、原則午前8時半から午後5時15分まで。完全週休2日制（週40時間勤務）で、消防士は交代勤務。年次休暇は年間20日（新規採用者は1年目15日）です

▽研修
海外派遣研修、通信教育講座など

区 分	初 任 給
行政職 高卒	141,900円
行政職 短大卒	151,800円
行政職 大卒	163,800円

▽研修
海外派遣研修、通信教育講座など

今年も熱い夏が あなたを待っている！

イマリン

ビーチへ くっせよう

黒川町の人工海水浴場『イマリンビーチ』で、7月1日海開きがありました。川本市長や関係者約50人が出席して、8月末までのシ



ズン中の無事故を祈願しました。昨年は5万8千人の人数でにぎわい、快適な水浴場として今年5月に『日本の水浴場88選』に再び認定されました。海開き式で川本市長は「市民はもとより、広く県内外から好評をいただいている。これも管理運営にあたる皆さんのおかげです」と話していました。

式の後、かわいい水着に着替えた地元の黒川幼稚園とたんぼぼ保育園の園児が地引き網に挑戦。「わあー、すごい」と大喜びで、網にかかったエビやカニを分けてもらっていました。

地引き網が終わると、園児たちは、待ちかねたように海へ一直線。当日は絶好のコンディションとあって、園児たちは今年初めての海に、水をかけあい大はしゃぎでした。



◆利用期間

7月1日から8月31日まで

◆利用料金

休憩施設 1000円/区画
コインロッカー 200円
シャワー 200円

※予約・問合せ先

イマリンビーチ管理事務所
(☎272816)

大川内山キャンプ場へ いらっしやい！

◆利用期間 7月15日～9月5日

7月15日には、伊万里の夏のもう一つの名所『大川内山キャンプ場』がオープンしました。

このキャンプ場は、県立自然公園『黒髪山』のふところに抱かれ、伊万里川の源となる清らかな水が流れ、一服の『涼』を求めるには絶好の場所です。1基10人まで利用できるテントプレース15基（一泊2100円）を備え、研修室、大小休憩室も完備しています。皆さんも、一度利用してみてはいかがでしょう。

▼予約・問合せ先
大川内山キャンプ場（☎9412）



キャンプ場を管理する「秘蔵の里大川内山を育てる会」会長の三宅 求さん

利用者のマナーはどうですかとよく聞かれますが、みんなにマナーを守ってもらっているの助かっています。このキャンプ場は自然の豊かさ、ありがたさを教えてくれます。皆さんどうかいらしてください。



暮らしに生かされる資金

簡易生命保険積立金還元融資と 厚生年金・国民年金積立金還元融資

市は、市民生活に欠かせない公共施設を計画的に整備しています。これらの施設整備には、皆さんの税金や、国、県からの補助金などを充てていますが、そのほか各種の資金を借り入れています。

平成12年度は、その資金を利用して次の施設を整備しました。



平成12年度に『簡易生命保険積立金還元融資』を利用して整備された青嶺中学校プール

簡易生命保険 積立金還元融資

▼青嶺中学校建設事業

平成12年4月に開校した青嶺中学校のプールの整備を行いました。

事業費 9691万円
うち簡保資金 5370万円

▼楠久津公園整備事業

市民の憩いの場となる公園整備を進めるため、先行取得していた公園用地の買い戻しを行いました。

事業費 3600万円
うち簡保資金 1800万円

▼伊万里ファミリーパーク (仮称) 整備事業

工事着手に向けての実施設計、園路測量、地盤調査を行いました。

事業費 3800万円
うち簡保資金 1900万円

▼都市再生交通拠点整備事業

伊万里駅前線(通称 南北道路)の整備に伴い、東西に分断される駅ビルを結ぶ、歩行者連絡橋の桁製作などを行いました。

事業費 3900万円
うち簡保資金 1950万円

▼地域イントラネット基盤整備事業

学校間の情報の共有、共同学習など、情報化社会における学校教育を支援するため、CATV網を活用し市内18の小中学校と市役所、市民図書館の間の高速大容量情報ネット

ワークを整備しました。
事業費 1億1990万円
うち簡保資金 6390万円

厚生、国民年金 積立金還元融資

▼松浦簡易水道基幹改良事業

平成12年度から、松浦町桃川地区などで老朽化した配水管の布設替を行っています。

事業費 5020万円
うち年金資金 2930万円

▼川内野簡易水道新設事業

平成10年度から、水道未普及地区の東山代町川内野地区で、簡易水道施設の新設工事を行いました。

事業費 9727万円
うち年金資金 5580万円

▼浦ノ崎簡易水道配水池新設事業

平成11年度から、山代町浦ノ崎地区で、簡易水道配水池の新設工事を行いました。

事業費 4703万円
うち年金資金 3530万円

芸術・文化を通じて 生まれた友好の輪

日中合作歌劇「始皇帝と徐福」

6月22日、市民会館で、日中合作歌劇「蓬萊の国 始皇帝と徐福」が上演されました。この歌劇は、世界のトップ

レベルの実力を誇る中国歌劇舞劇院と東京オペラ協会が共演し、日本と中国の各地で上演しているものです。

「市民参加型オペラ」である今回の公演には、小学生から大人まで市民約100人が参加。3カ月前から練習を重ね、本番を迎えました。

劇中は、中国語の台詞や歌もありましたが、言葉や文化の違いを越えて伝わる、迫真の演技とすばらしい歌声が観客を魅了。終演時には場内からわれんばかりの拍手が沸き起こっていました。



★★★★★

図書館☆(ほし)まつり 図書館の誕生日を みんなで祝おう

みんなでお祝い

★★★★★

7月7日と8日にかけて「図書館☆(ほし)まつり」が開かれました。

この催しは、市民図書館の開館を記念して毎年開かれてくるもので、今回で6回目を迎えます。

今年は24グループが趣向を凝らした催しを行い、図書館の誕生日を祝いました。開架室では、音楽団体によ



開架室に響く歌声 (コールいまりの皆さん)

るコーラスが響き、訪れた親子が一緒に童謡を口ずさむほほえましい風景も見られました。また展示コーナーでは、押し花展や俳句展が開かれ、チャリティーお茶席にはゆつたりとした時間を過ごす人たちの姿が見られました。

一方南庭では、自転車紙芝居、チャリティー古本市などが行われ、子どもたちの元気な声が響いていました。

いつもとは違った趣の図書館で、訪れた人たちは思い思いに楽しいひとときを過ごしていました。

郷土の文化財

伊万里市の歴史 (補足)

松浦党の黄昏

伊万里市の中世

豊臣秀吉に恩を感じた上松浦の波多親は、秀吉が名護屋城(鎮西町)を築くときに協力しました。

しかし、文禄・慶長の役(1592~98年)では、下松浦の平戸松浦氏は大名として認められ、一軍をひきいて出兵したのに対し、親は龍造寺氏の重臣であった鍋島直茂の配下として出兵を命じられ、大名と認められなかったことが不満でした。

そのため親は、出兵も直茂とともにしないで、出兵後も直茂とともに行動せず、慶尚道の熊川にとどまって軍を動かしませんでした。これが秀吉の逆鱗にふれま

す。文禄2年(1593年)、親は臆病者として敗戦の責任を問われ、筑波山麓(茨城県)へ流され、その領地



岸岳末孫の墓 (波多津町板木)

を没収されました。

これは、明からの援軍や朝鮮半島の民衆たちの強い抵抗によって、日本軍の形勢が不利になっていたのを見せしめの意味がありました。

上松浦の松浦党、波多氏は滅びました。波多氏の非業の最後を悼んだ人びとによって波多氏の伝説は語りつがれ、旧唐津郷(市の東北部)に岸岳末孫の祟りの伝説を、現代に残しています。

みんなの 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 23-2111・内線207)



熟練の技が全国で認められました (6月19日)

松尾克美さん(大坪町白野)が全国建具展示会で経済産業大臣賞を受賞しました。出品したのは木製の間仕切り戸。中国のヒノキを使ったたいへん手のこんだ作品で、製作に4か月を要したそうです。展示会へは6回目の出品ですが、内5回はいずれも入賞するほどの技量で、今回は最高の賞に輝きました。松尾さんは「今後もチャレンジしていきたい。でもこの賞はプレッシャーですね」と話していました。



わが町を住みよくきれいな町に (6月16日)

東陵中学校では『わが町クリーン大作戦』と題した清掃活動があり、近くの公共施設を中心に老人クラブ会員と一っしょに草刈りやゴミ拾いを行いました。清掃を終えた生徒は「自分たちだけではこんなにきれいにできなかった。今後も続けたい」と話していました。



開館2周年に感謝して (7月1日)

黒澤明記念館サテライトスタジオが開館して2周年を迎え、その記念イベントがありました。この日は来館者全員にオリジナルのしおりがプレゼントされました。また、抽選で伊万里焼なども当たるとあって、来館者は喜々として抽選箱の中を探っていました。

人命救助への協力に感謝します (6月25日)

木須隆夫さん(木須町、写真右)と井上正昭さん(唐津市、同左)に伊万里警察署長から感謝状が贈られました。二人は木須町の農道で倒れていた女性を発見し、連携して救助、救急車の手配などを迅速に行ったものです。お二人の勇気ある行動に感謝します。





👉七夕飾りに願いを込めて (7月4日)

カトリック幼稚園の園児が伊万里警察署を訪れ、七夕飾りをプレゼントしました。これは警察署員から安全指導を受けているお礼にと贈ったものです。園児たちは「ケーキ屋さんになりたい」「花屋さんになりたい」などを書いた短冊をていねいに竹に飾っていました。

👉心のバリアフリーをめざして (6月29日)

『ほほえみ広げてふれあいステージ』が市民センターでありました。当日は、市内の特別養護老人施設やケアハウスなど11団体から110人が参加。歌やダンス、浮立（ふりゅう）などを演じ、会場から盛んな拍手が送られていました。



👉大きくなって戻ってコイ (6月21日)

黒川小学校の児童約100人が、学校近くの立川（タテカワ）に鯉を放流しました。これは伊万里ライオンズクラブと黒川町区長会が協力して行ったもので、関係者は「子どもたちが鯉の成長を観察することで、環境問題に関心を持ってくれば」と話していました。

👉伊万里市との友好関係を伝えたい (7月6日)

大連市からマスコミ代表団が訪れました。これは、来年の日中国交正常化30周年に向けて、友好都市との交流状況取材のために訪れたものです。代表団は「伊万里市との友好関係を大連市民に伝えることで、両市友好のお役に立ちたい」と話していました。



親子で作った お菓子の味は？

市民センターで「親子でお菓子づくり教室」が開催されています。これは子育て支援啓発事業の一つとして行われているものです。15組の親子が、7月4日から8月22日までの計7回、毎回違ったさまざまなお菓子づくりにチャレンジするもので、講師は伊万里・西松浦菓子工業組合の皆さんです。

7月4日の第一回目のメニューは「スフレ・オ・フロマージュ」というチーズケーキの一種。講師から材料や、作り方の簡単な説明を聞いた後、実際に作業開始です。牛乳とチーズを過熱しながら溶かしたり、メレンゲを立てたりという作業では、講師の応援を仰ぐ場面が何回も

あり、なかなかむずかしそうです。参加者は「なかなか高度な作業でむずかしかった。でも楽しかったのですね、今度は自分の家で作ってみます」と話していました。

ほがらか



ページ

◆ 大川内小学校 ◆

泥んこになりながら

昔ながらの田植えに挑戦



6月22日、大川内小学校では恒例となった『田植え』がありました。これは、学校の総合的な学習の一つとして行われたもので、モミまきから収穫まで、米ができるまでの一連の作業を体験させようとして実施されたものです。

当日は、全校生徒が参加して、育友会役員や先生の指導のもと、学校近くの6アールの田に、もち米の苗を一本、一本でいねいに植え込んでいました。秋には収穫し、全員で『もち』を作り、学校の近所や、一人暮らしのお年寄りの人に配る予定です。

◆ 伊万里高校 ◆

カブトガニが

今年も来てくれるように

カブトガニの産卵期を前にした6月21日、伊万里高校生物部による、産卵地（木須町

多々良海岸）の清掃作業がありました。これは伊万里高校が行っている地域ボランティア活動の一つとして行われたもので、生物部員17人が参加して、海岸に打ち上げられたアシなどの漂着物や、空き缶、ビニール類をいねいに拾っていました。



同地は、カブトガニの日本最大の産卵地で、同高校の生物部が30年前から研究を続け、保護活動にも力をいれています。

カブトガニは、6月下旬から8月上旬の大潮の満潮時に、波に乗ってきて砂浜に産卵します。産卵に来た数は、平成8年の800ツガイをピークに減り続け、昨年は212ツガイに減少しました。同校生物部では今後も調査、保護活動に真剣に取り組むことにしています。

毎年産卵に来るツガイの数が減っているのが気がかりです。産卵地の環境は毎年あまり変わらない気がします。ほくたちは、カブトガニが少しでも産卵しやすいように、掃除をすることぐらいしかできません。



生物部部長の
野林 大起くん
(脇田町)

四季の詩

母の字の黄ばむ和綴じの盆膳団

新天町

久富千栄子

吾が畑に小玉の西瓜実りたり

指で弾けば旬の音する

東山代町天神

森 幸子





東陵 中学校

所在地 伊万里市松浦町提川
200番地

創立 平成5年
(1993年)

児童数 233人

校長 吉原啓二郎

ぼくの学校 わたしの学校

沿革

平成5年、大川中学校と松浦中学校が統合して、東陵中学校が開校しました。

校訓は「進取・練磨・創造」です。

学校の特徴

私たちの東陵中学校は、周りを豊かな自然に囲まれていて、緑がともきれいな学校



紹介してくれた、副島知彦くん(左上)、梅崎直基くん(同中)、山口幸貴くん(同右)、江口啓介くん(下左)、松尾亜以さん(同中)、畑元理沙さん(同右)



全校生徒で行う『人権討論会』の様子

です。今年で開校9年目を迎えますが、日ごろみんなが一生懸命掃除に取り組んでいるので、今でもとてもきれいな校舎です。これからもきれいなまま後輩たちに使い続けてほしいと思います。

また、グラウンドがとても広く、校舎には全教室に放送用のテレビも設置しており、素晴らしい教育環境が整っています。

私たちの学校では、人権教育に力を入れていて、全校生徒が人権について考えを深める「人権討論会」を行っています。そのおかげで、今までいじめや差別などまったくない、みんな楽しく学校生活を送っています。

ほほえ美さん

りきたけ あき
力武 亜紀さん(22歳)

★瀬戸町本瀬戸

★しし座・O型



亜紀さんは、蓮池町にある川井産業(株)に今年の4月からお勤めです。経理事務を担当し、ようやく仕事にも少し慣れてきたそうです。休日には、よく釣りに出かけるという彼女。2年前から始めて、今までで一番の大物は去年釣り上げたタイ。今年はいくら以上の大物を狙います、とのこと。アウトドア以外に、最近パソコンにも熱中。インターネットやメールの他に、デジタルカメラの編集もしています。夢中になりすぎると、時間を忘れてしまうんです、と明るく語ってくれました。

わが家の アルバム

なかしま なおと
中島 直人くん (10か月)

★亮・千佳子さんの次男

★大坪町つつじヶ丘



元気で、のびのびと育ててください。兄弟いつまでも仲良くね。そして、たくさんのお友達が出来るといいね。

ぼくの宝物はウルトラマンの人形なんだ。おでかけするときは、いつもいっしょだよ。それと、お兄ちゃんが毎日乗っている幼稚園のバスが大好き。ほくも早く大きくなつて、あのバスに乗って幼稚園に行きたいな。

スポーツ

8月の町民スポーツ

- 1日(水)～
 - 二里町民ナイターソフトボール大会
19時半開会 二里小学校
- 3日(金)
 - 牧島女子ナイターバレーボール大会
20時開会 牧島小学校
- 5日(日)
 - 大川町子ども会球技大会
8時開会 大川体育館ほか
 - 大坪地区子ども会親子いかだづくり大会
9時開会 伊万里川
 - 波多津町子ども会夏季球技大会
8時開会 波多津運動広場
 - 南波多町子ども会球技大会
8時半開会 南波多小ほか
- 7日(火)
 - 山代町子ども会ミニバレーボール大会
19時開会 山代中学校
- 15日(水)
 - 山代町民球技大会
8時半開会 山代中学校ほか
- 20日(月)～
 - 黒川町民ナイターバレーボール大会
20時開会 黒川小学校
- 26日(日)
 - 大川内町民バレーボール大会
8時15分開会 国見台体育館
 - 南波多町民球技大会
7時半開会 南波多小学校ほか
 - 波多津町民球技大会
7時半開会 波多津運動広場ほか
- 9月2日(日)
 - 大坪地区球技大会
8時開会 伊万里中学校ほか
 - 大川内町民ゲートボール大会
8時開会 伊万里向陽園ほか
 - 牧島町民運動会
8時半開会 牧島小学校
 - 山代町民体育大会
8時半開会 山代中学校

8月の市民スポーツ

- 16日(木)～
 - 佐賀新聞社旗争奪伊西地区高校野球新人大会
9時開会 国見台野球場
- 19日(日)
 - 市子ども会連合会スポーツ大会
9時開会 国見台体育館ほか



イマリンフェスタビーチバレーボール大会 ビーチは今年も熱く燃える

第9回イマリンフェスタビーチバレーボール大会が、7月15日、黒川町福田のイマリンビーチを会場に開かれました。この大会は「マリンビーズ」というボランティアグループが中心となり実行委員会を組織し開催しているもので今年で9回目となります。年々充実するこの大会には、市内外から132チームが出場。その半数のチームが県外という夏の伊万里を代表するイベントとなりました。

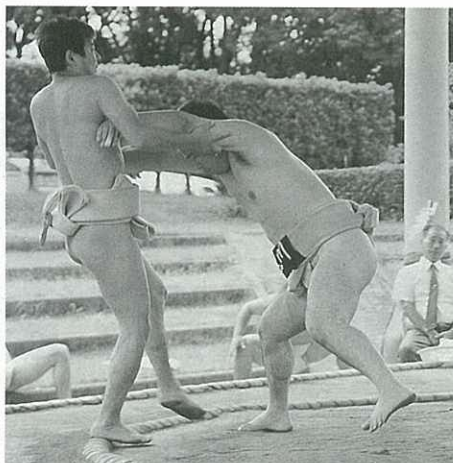
当日は、ゲストとして招待したラジオパーソナリティーの村上隆二さんの司会に会場は大変な盛り上がり。ビーチバレーのほかに、ビーチフラッグレースも開催されるなど、イマリンビーチは一日熱く燃えました。

また、アマチュアバンドによるライブも開催され、ロックのリズムが会場を盛り上げていました。なお、上位の結果は次のとおりです。

▼ビーチバレーボール
①うっかり派(福岡県) ②RED-ZONE(福岡県) ③はまたま(福岡県)

▼ビーチフラッグレース
①副島裕介(伊万里市) ②迎玲奈(福岡県)

市長旗争奪青年相撲大会 圧倒的な強さ！ 黒川町が 14連覇を達成



また、個人戦では、黒川町の新居輝喜選手が、見事優勝し3連覇を達成しました。

《団体の部》
優勝 黒川町
準優勝 牧島町
3位 大川町

《個人の部》
優勝 新居輝喜(黒川)
準優勝 森山隆(牧島)
3位 田中英樹(黒川)

第18回市長旗争奪青年相撲大会が、7月8日、国見台相撲場で開かれ、土俵上で繰り広げられる、力と力のぶつかり合いに、集まった観客は大きな声援を送っていました。

団体戦では、黒川町チームが優勝。第5回大会から続く優勝記録を14へとのばしました。

●伊万里・西松浦地区中学校水泳大会

国見台から

世界へ羽ばたけ

伊万里・西松浦地区中学校水泳大会が7月9日、国見台プールで開かれました。

当日は、まずまずの天候に恵まれ好記録が続出。時おり梅雨の晴れ間の熱い日ざしがのぞくなか、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮しよう

と力いっぱい水しぶきをあげていました。なお、主な競技結果は次のとおりです。

《男子》

- 〈総 合〉①啓成中②伊万里中〈50メートル自由型〉②前田顕徹(啓成中)③石井宏法(国見中)④100メートル自由型①小川裕太(啓成中)②石井宏法(国見中)③前田顕徹(啓成中)④200メートル自由型①小川裕太(啓成中)②山口啓太(東陵中)③古田晃大(伊万里中)④400メートル自由型③樋渡公平(伊万里中)④1500メートル自由型①副島昭太(伊万里中)②田中達博(同)④1000メートル平泳ぎ①迫田拓哉(啓成中)②久地浦桂辰(同)④2000メートル平泳ぎ①久地浦桂辰(啓成中)②迫田拓哉(同)④1000メートル背泳ぎ①下平和宏(伊万里中)②西田哲也(滝野中)③野口誠司(啓成中)④2000メートル背泳ぎ

- ①下平和宏(伊万里中)②田中達博(同)④4000メートルメドレーリレー①啓成中③伊万里中④4000メートルリレー①啓成中②伊万里中③山代中

《女子》

- 〈総 合〉①伊万里中③東陵中④50メートル自由型①古場清香(伊万里中)②兼武沙衣(青嶺中)③坂本ちひろ(啓成中)④100メートル自由型①本山奈津美(伊万里中)②古場清香(同)③鶴田 梓(青嶺中)④200メートル自由型①本山奈津美(伊万里中) 大会新③本山美晴(同)④1000メートル平泳ぎ①光田幸希(伊万里中)②大野菜希(東陵中)④2000メートル平泳ぎ①光田幸希(伊万里中)②大野菜希(東陵中)④丸田美咲(山代中)④1000メートルバタフライ①仁戸田 彩(伊万里中)③山口知香(同)④2000メートルバタフライ①仁戸田 彩(伊万里中) 大会新④4000メートルメドレーリレー①伊万里中④4000メートルリレー①伊万里中③青嶺中

《男女総合》

- ①伊万里中②啓成中

市民インディアカ大会

赤い羽根を追い

熱戦を展開!

第3回伊万里市民インディアカ大会が、6月24日国見台体育館でありました。

当日は、21チームが参加、三つのパートに分れて熱戦が展開されました。

なお、試合結果は次のとおりです。

▼Aパート

- 優勝 黒川海物語
準優勝 黒川マリーンズ

▼Bパート

- 優勝 大川A

- 準優勝 松浦マーズC

▼Cパート

- 優勝 黒川ギンギラパラ

- ダイス

- 準優勝 東山代A



第54回県民体育大会のサブタイトル決定!

集え! 炎の里 開け! 新世紀



サブタイトルを考案した 大久保盛由さん(脇田町)

「市の行政に積極的に参加しようと思ひ応募しました。タイトルを考える時に、先に思ったことは、伊万里市と西松浦郡という地域性をどう表わすか、また、21世紀最初の県体ということをどう表現するかですね。県体は佐賀県の元気のもとですから、ぜひ成功させたいと思います。県民こそつて、伊万里・西松浦においてください。そして参加される選手の皆さん、がんばってください!」

くらしのチャンネル

お知らせ

お盆はお休みします

◆不要犬の引き取りと野犬の捕獲
休み期間 8月11日～15日

◆し尿くみ取り
休み期間 8月14日～16日

※ごみの収集と環境センターは、通常業務です

●問合せ 市生活環境課
(☎2111内線283)

お盆の精霊流しは時間と場所を守って

お盆に行われる精霊流しの舟とお供物などを回収するため、精霊流しを行う時間と場所を次のとおり指定します。

◆日時 8月15日(水)
午後7時～10時

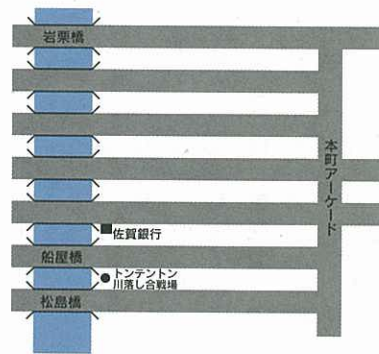
◆場所

◇水に浮くもの

岩栗橋から松島橋の間で流してください

◇水に沈むもの

船屋橋下流の川落とし合戦場に祭壇を準備していますので、そこにお供えして、川に流さないでください



●問合せ 市生活環境課

(☎2111内線283)

8月10日は道の日

毎年8月10日は「道の日」です。道路は、私たちの生活を支える大切なものです。この道路をいつまでも美しく、そして安全に利用するため、ゴミ、空き缶などのポイ捨てや不法占用をしないようにしましょう。

児童扶養手当と特別児童扶養手当

▼現況届

児童扶養手当と特別児童扶養手当を受けている人は、現況届を提出してください。現況届の提出がないと手当の支給が差し止められます

●受付期間 8月13日～31日

●必要なもの

通知書、届け出印鑑、通知書に記載してある書類

▼資格喪失届

資格が喪失したときは、資格喪失届を提出してください。届け出をしないまま手当の支給を受けていると、資格喪失事実の発生の翌月分から返還しなければならなくなります。資格が喪失するのは、次の場合などです

▽受給者や対象児童が婚姻(事実婚を含む)したとき

▽児童が、受給者の生計と別になったとき

▽児童が、福祉施設に入所したときなど

▼新規申請

新規の申請は、随時受け付けています

▼特別児童扶養手当

父母の離婚や父の死亡、1年以上の遺棄などにより、父と生計を同じにしない児童(18歳になった最初の3月31日まで、または20歳未満の障害児)を監護している母、または養育者に支給します。ただし、次の制限があります。すので注意してください。

8月9日と15日は 平和の祈りを

8月9日は、長崎市に原爆が投下された日です。

今もなお原爆症で苦しんでいる数多くの人々の早い回復と、原爆死没者のめい福を祈るため、午前11時2分にサイレンを鳴らします。1分間の黙とうを捧げましょう。

また、8月15日は、終戦記念日です。戦争で亡くなった数多くの人々の追悼と恒久の平和を祈念するため、正午にサイレンを鳴らします。1分間の黙とうを捧げましょう。

▽所得制限があり、一部支給や全額支給停止になる場合があります

▽世帯を分けていても、祖母、両親、兄弟姉妹などと同居の場合は、その所得によつて制限を受けることがあります

▽母子家庭になって5年を経過すると申請できません

▼特別児童扶養手当

精神または身体に中度以上

深山運動広場でスターウォッチング

星空観察全国第3位の深山運動公園で、夏期スターウォッチングを実施します。

美しい星空を、親子でぜひ観察してください。(天体望遠鏡は、主催者で準備します)

●日時 8月10日(金)

午後7時半～

●会場

深山運動公園(黒川町)

●問合せ 市生活環境課

(☎2111内線285)

参加しませんか リサイクルフェア

資源ゴミのリサイクル活動のひとつとして、第6回リサイクルフェアを開きます。

あなたも、家庭で使わないまま眠っている日用雑貨や衣類、陶磁器などを持ち寄り、出店してみませんか。

- 日時 9月23日(日) 午前9時～正午
- 会場 市役所の公用車庫とその周辺
- 申込期限 8月31日(金)
- 問合せ 市生活環境課 (☎232111内線283)

武雄森林管理センターが廃止

8月1日で武雄森林管理センターが廃止され、その後の業務は佐賀森林管理署が担当します。なお、市内の国有林の担当は従来どおり伊万里森林事務所です。

- 問合せ 伊万里森林事務所 (☎233035)

巡視船「ちくぜん」 体験航海

ヘリコプター搭載型巡視船「ちくぜん」が、昨年に引き続き伊万里湾にやってきま

す。夏の思い出に体験航海に参加してみませんか。

- 日時 8月18日(土) 午前9時～正午(9時40分乗船開始)

※緊急出動や悪天候の場合は中止します

- 乗船場所 伊万里港久原南ふ頭(山代町)
- 乗船料 無料
- 応募方法 希望者には先着順で乗船券を発行します。

当日持参してください
※小学生以下は、保護者同伴

- 定員 1000人
- 乗船券の発行所 伊万里湾小型船安全協会(立花町・伊万里発動機内)、商工会議所、市商工観光課
- 乗船券の発行期限 8月16日(木)

排水設備の 清掃依頼は慎重に

最近、下水道を使用しているご家庭を清掃業者が訪問しているようです。

排水設備の清掃は決して無駄なことではありませんが、固形物や水に溶けにくいもの

(油類やティッシュペーパーなど)を流さなければ簡単には詰まりません。また、少々の汚れの付着はあまり心配する必要はありません。

ただ、排水設備はあくまで個人施設ですので、時には蓋を開けるなど、点検に心がけてください。

今後、清掃業者が訪問してきた場合、きちんとした意思表示(必要なければ断わるなど)をしてください。

なお、市は清掃業者に対し清掃の指示、斡旋および依頼などは一切行っていません。

- 問合せ 市下水道課 (☎232111内線325)

商店街チャレンジ店 支援事業

市は、中小小売業者者の積極的な事業展開を支援するために「伊万里市商店街チャレンジ店支援事業利子補給金交付制度」を設けました。

この制度は、中心市街地の区域で小売商業を営む事業者が、県が行う中小企業特別対策資金を利用される場合に、利子補給を行う事業です。

- 事業期間 平成13年度から14年度までの2年間
- 対象者 小売商業者(小売

業、一般飲食業および理美容業)

- 対象資金 県が行う中小企業特別対策資金のうち「大型店進出対策資金」「独立開業資金」「新事業展開資金」が対象
- 利子補給期間 5年間(資金の貸付期間は10年)
- 利子補給率 大型店進出対策資金 2・0割
- 独立開業資金、新事業展開資金 2・2割

- 問合せ 市商工観光課商工振興係 (☎232111内線352)

イマリンビーチで 海の環境教室

イマリンビーチ周辺の伊万里湾において、シーカヤックを使った海の観察会を行います。日頃なかなか経験できないシーカヤックでの海の散策を楽しんでみませんか。

- 日時 9月2日(日) 13時半～
- 雨天の場合、9月9日(日)に延期します
- 会場 イマリンビーチ周辺(黒川町)
- 申込・問合せ 市生活環境課 (☎232111内線285)

看護職有資格者に 復職のための講習会

県看護協会は、ブランクが長くて再就職するのが不安な看護婦などの免許保持者を対象に講習会を開きます。

- 日時 9月10日～14日 午前9時半～午後3時半
- 会場 県立病院好生館
- 対象 看護職有資格者でブランクの長い人
- 申込方法 県看護協会ナースセンターへ電話で申し込んでください
- 申込期限 8月17日(金)
- 申込・問合せ (社)県看護協会ナースセンター(☎0952295516)

サマーフェスタ まつら2001

- 期日 8月26日(日)
- 会場 桃川親水公園(松浦町)
- イベント内容
 - ▽釣り大会 午後2時～
 - ▽ウォークラリー大会 午後4時～
 - ▽バンド演奏・踊り・お楽しみ抽選会など 午後6時～
 - ▽花火大会 午後8時40分～
- 問合せ 松浦公民館(☎262001)

合同就職面接会を開催します

- 対象 Uターン就職を希望する人、大学や短大、専門学校などを来年3月に卒業予定の人、今年3月卒業した人で未就業の人
- 日時 8月13日(月) 午後1時～4時
- 会場 佐賀県総合体育館(佐賀市)
- 内容 Uターン求人情報の提供、県内一般求人紹介・職業相談、企業面接・選考、新規就職相談など

- 問合せ 県労働課雇用対策室(☎0952-7310)

松浦火力発電所を見学しよう!

- 期日 8月13日～16日
- 時間
 - ①午前10時～11時半
 - ②午後1時～2時半
 - ③午後3時～4時半
- 所要時間 約1時間半
- 見学コースと内容
 - ▽PR映画
 - ▽模型室(ボイラー・タービンの模型など)の見学
 - ▽実物タービンの見学

- 問合先 松浦火力発電所総

務グループ(☎0956-1201)

ぼしゅう

出展してみませんか 佐賀県文学賞

- 作品の受付期間 8月1日(水)～31日(金)
- 応募資格 職業作家を除く県内在住者(県内の学校や職場に通学、通勤している人を含みます)
- 作品区分 小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳
- ※応募作品は未発表に限りま
- ※また、各部門に応募規定があります
- 申込・問合先 ☎8401-8570 佐賀市城内1丁目1-59 県文化団体協議会「佐賀県文学賞」係(☎0952-7230)

国土緑化運動・育樹運動の標語募集

- テーマ 国土を緑豊かにするための植樹、および森林の保護育成などへの意欲を強調したもの
- 応募方法 応募作品に住所、氏名、職

業(または学校名、学年)を明記し提出してください

※作品は未発表のものに限ります。入賞作品の著作権は国土緑化推進機構に帰属します

- 応募期限 9月21日(金)
- 応募・問合先 市農林水産課(☎2111-内線362)

松浦鉄道のフォトコンテスト

- テーマ 松浦鉄道西九州線の駅や列車、車内の情景、沿線の風景など
- 応募区分
 - ▽一般の部
 - ▽ジュニアの部(18歳以下の人を対象)
- 応募規定
 - ▽応募サイズは、4つ切またはワイド4つ切(ジュニアの部は、6つ切またはワイド6つ切でも可)
 - ▽カラー、白黒ともに可
 - ▽平成12年10月以降に撮影した自作未発表作品
- 応募方法 作品の裏面に所定の応募票を貼付するか、必要事項(住所、氏名、年齢、電話番号、撮影場所、撮影年月日、タイトル)を記入のう



- ◆日時 8月26日(日) 午後6時開演
- ◆会場 市民センター文化ホール
- ◆入場料 (前売券) 一般1500円、高校生以下800円、親子券1800円(大人1人、高校生以下1人)
- ◆チケット取扱所 伊万里玉屋、しのはらレコード店、市民センター、各町公民館ほか
- ◆問合先 市民センター(☎23911)

え、提出してください

- 応募期限 9月20日(木)
- ※入賞作品の著作権は、主催者に帰属します
- 応募・問合先 ☎8571-8585 佐世保市八幡町1-10(佐世保市役所企画調整課内) 松浦鉄道自治体連絡協議会事務局(☎0956-9620)

自衛官募集

- 応募資格
 - ▽一般曹候補学生
 - ▽18歳以上27歳未満の人
 - ▽曹候補士
 - ▽18歳以上27歳未満の人
 - ▽二等陸・海・空士
- 応募期間 8月6日～9月7日
- ※二等陸・海・空士の男子については随時受け付け
- 問合先 自衛隊武雄募集事務所(☎0954-28304)

市民センター生け花教室

- 日時 9月から11月までの毎週木曜日午後6時～8時まで(12回)
- 会場 市民センター
- 対象 市内在住または市近郊の人
- 募集人員 24名
- 受講料 5000円

8月の行事

市民センター ☎ 23911

- 19日(日) 伊万里市文化祭参加
民謡・民舞とすもう甚句
10時 500円
- 26日(日) 市民センター自主事業
子ども文化ふれあい事業
ミュージカル「アルプスの少女ハイジ」
18時 当日券 一般2000円
高校生以下1000円 親子券2300円
- 28日(火) いまり人権
フェスティバル 2001
13時半 無料

市民会館 ☎ 27105

- 21日(火) 伊万里市老人福祉大会
9時半

市民図書館 ☎ 234646

- 5日(日) 一映「ジュラシック・パーク」
13時半 無料
- 9日(木) 一映「キートンのセブン・チャンス」
13時半 無料
- 15日(水) 一映「ひめゆりの塔」
13時半 無料
- 22日(水) 一映「キートンのセブン・チャンス」
13時半 無料
- ◇子ども放送局(番組上映)
25日(土) これまでの番組の再放送
- ◇特別企画
11日(土) 「いまりのカブトガニ」
10時 無料
(カブトガニのお話、ペーパークラフト、折り紙づくり)
- ※毎週土曜日 お話し会 14時半～
- ※都合により上映時間を変更することがあります

市民相談

会場：市民相談コーナー
時間：10時～15時 無料・秘密厳守

- 法律 (木) 2.16
- 交通事故 (火) 14
- 行政 (水) 15
- 人権 (火) 7.21
- 身障者 (月) 27
- 消費生活 (月) 6.13.20.27
- 女性就業 (水) 1.8.15.22.29
- 社会保険 (金) 3.10.17.24.31

(会場：第1面接室)

- ボランティア相談…毎週月曜日
10時～15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日
10時～16時 会場 市民ロビー

21日(火) の人権相談は、特に、女性の人権(セクシャル・ハラスメントなど)についての相談に応じます

☎ 232111 (内線226)

おもちゃ図書館のバースデイ

- 日時 8月26日(日)
- 集合時間 9時集合
- 集合場所 市民センター
- 行き先
- メルヘン村(武雄市)
- 参加費
大人 1000円
小・中学生 500円
- 申込期限 8月20日(月)
- 申込・問合先 市社会福祉協議会(☎23931)

い出を作りませんか。

内容

お国自慢の料理教室、作った料理での昼食会、講師のお話、遊び体験など

●日時 8月27日(月)

●会場 市民センター

●対象 市内の小中学生(4年生以上)

●募集人員 30人

●※定員になり次第締め切り

●参加料 500円

●募集期限 8月17日(金)

●申込・問合先

市男女協働・国際交流課

(☎232111内線496)

一緒に作ろう！多国籍料理

伊万里市国際交流協会は、外国の人を講師に招き一日交流会を開催します。異国の文化を学び、夏休みの楽しい思い出

県勤労者美術展へ出展してみませんか

開催期間

8月29日～9月2日

●会場 県立美術館

●募集区分

絵画(日本画・洋画・版画など)、写真、書、工芸、デザイン

●※各区分ごとに規格が定められていますので、ご確認のうえご応募ください

●出品者資格

県内に居住する勤労者、または県内の事業所に勤務する人(農業従事者なども応募可)

●出品点数

自作未発表のもので、部門別に1人1点

●出品申込および搬入

出品希望者は所定の出品申込書に必要な事項を記入のうえ、作品とともに次のいずれかにより搬入する

▽8月10～20日までに、最寄りの労政事務所へ搬入する

▽8月27日の正午～午後3時まで、県立美術館へ搬入する

※ただし、工芸作品については8月27日の直接搬入のみ

●申込・問合先

唐津労政事務所(唐津総合庁舎内)

(☎095531151)

▽武雄労政事務所(武雄総合庁舎内)

(☎095422359)

しけん

排水設備工事責任技術者資格試験

●試験日 10月24日(水)

●受付期間 8月20日(月)～24日(金)

●受験資格

▽高校以上の土木工学科などを卒業し、排水設備工事などの設計または施工に関し2年以上の経験を有する人

▽高校を卒業し、同じく3年以上の経験を有する人

▽排水設備工事などの設計または施工に関し、5年以上の経験を有する人

●試験科目

下水道に関する一般知識、排水設備に関する法令・事務手続き・設計・施工ならびに維持管理について

●※受験案内は市下水道課で8月24日まで配布します

●申込・問合先 市下水道課

(☎232111内線349)



故郷の山に向かい、言うことばなし

埼玉県新座市 牟田計作さん

故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらつしやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

頼みれば、故郷の地を離れたのは、昭和23年3月の春でした。本当に『光陰矢の如し』50年の歳月が流れ、長いようで短くも感じられます。高校、大学時代は、戦後の間もない頃で大変な食糧難と苦学の時代でした。いつも思い出すのは、故郷の海山で忘れられることはありませんでした。



私は大学卒業後、東京の私立高校の社会科学の教師として奉職し、後年は関連大学の医学部図書館に勤務しました。平成7年に定年となり、38年間の教師生活を去ることになりました。しかし、平成10年近くに立教大学武蔵野新座校が開校。70歳にして図書館専門職として採用され、4年目を迎えることになりました。

子は親の背中を見て育つと言われますが、おかげさまで私が育んできた教育の道を、娘夫婦が継承して東京都の教師として奉職しております。

私の故郷は、伊万里市山代町久原です。この地は、伊万里の中でも一番風光明媚で、東の山々から太陽が昇り、青い海に浮

『故郷の山に向かい言うことばなし』、故郷の山はありがたきかな』人には、それぞれ故郷があるように、私も忘れることのできない故郷があります。かぶ小島、七ツ島の伊万里湾を望み、南は山代富士と言われる城山を仰ぎみて、西に落日の風景が輝き、忘却することのできない景勝地であります。小学校の校歌にも、伊万里湾の景勝を表わした『詩』があったことを思い出しました。なぜかノスタルジックな気持ちになります。私の小学校の頃は、戦争が一番激しい頃でしたので、故郷の印象が強く感じられます。その山代東小学校の創立110年記念誌が昭和59年2月に発行されました。明治6年の創立という学校沿革を見て、教育の重さと、それを支えてきた地域の人たちの苦勞を思う時、万感せまるものがありました。その記念誌に掲載された、今は亡き恩師 馬場徹蔵先生の寄稿文『在職12年の思い出』を読んだ懐かしく思いました。昨年『東京佐賀県人会』で、馬場先生のお嬢さん(高木サチ子さん)に偶然お会いすることができ、これも何かの縁と感謝いたしております。

新しい21世紀。いつまでも伊万里市が、次の世代に自慢できる環境であり続けることを祈念いたしております。

今月の焼物 いろえからはなしつほうもんへんけいさ 色絵唐花七宝文変形皿 緩やかな波緑の変形皿です。器面の上下に直径7センチ程の円形の窓文をはみ出させ、七宝文で埋めつくした奇抜な構図です。窓文の中には、赤線で縁取りし、黄、緑の絵具で彩加した唐花文が描かれています。筆づかいは豪放ですが、地文の七宝文は丹念な仕事ぶりを見せています。この作品がつくられたころには、精緻な表現が可能である墨弾き技法があつたにもかかわらず、染付線を描いたのはなぜなのか興味は尽きません。

編集室から

ビーチパレー大会の取材に、先日イマリンビーチに行ってきました。昨年、今年とよすぎるような天気で、ビーチは焼くような熱さでした。聞くところ、参加132チームの内、半数が県外のチームとのこと。伊万里の数あるイベントの中でも、これだけ県外から参加するイベントが他にあるでしょうか。ちよつと思いつきません。まさに伊万里を代表する夏のイベントとなった感があります。企画、運営に携わるスタッフの皆さん、なかなかたいへんでしょうが、自然体でがんばる皆さんの力が、来年もこのビーチを黒山の山の人だかりにすることでしょう。(V)

人のうごき

平成13年7月1日現在
●人口 59,826人 (0)
●男女 28,522人 (18)
●世帯 20,168世帯 (20)
()は前月比

広報伊万里 2001-8
発行日/平成13年8月1日
発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111
〒848-8501佐賀県伊万里市立花台1-1-1
伊万里市のホームページ http://www.saganet.ne.jp/imari/
印刷/株式会社三光